

注意(ちゅうい)

保護者の方へ必ずお読み下さい。



- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸を首にかけてふざげたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸は指などに巻き付けたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。
- 誤飲・毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 思わぬ事故の危険がありますので作業中は絶対にシリンダー、マガジンに指を入れないでください。
- 毛糸、専用ビーズ以外のものを編み込まないでください。かぎ針が折れて飛ぶなどして危険です。
- かぎ針や編み針、とじ針は機能上、尖っていますので危険です。使用目的以外には絶対に遊ばないでください。
- 遊んだ後は、3才未満のお子様の手が届かない所に保管してください。
- はさみなどを使用しますので、お取り扱いに十分注意してください。
- シリンダーやハンドルに指や髪の毛や衣服などを巻き込まないように注意してください。
- マガジンやシリンダー、ハンドルのすき間には指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- テンションは無理に折り曲げたり、顔に近づけたりしないでください。ケガをする恐れがあります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息などの恐れがあります。

使用上の注意

- 破損、故障、変形の原因になりますのでハンドル、シリンダー、マガジン、テンションなどに無理な力を加えないでください。また、シリンダーやかぎ針を押さえたままハンドルを回したりしないでください。
- 分解・改造は行わないでください。
- 本体を落とすなど強い衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 傾斜の無い平らな所に置いて使用してください。
- 本体を持ち運ぶ際は、必ず本体下側部分を持ってください。
- 付属の専用ビーズ、または別売りの専用ビーズ以外は使用しないでください。
- テンションは脱着式です。外れた場合は再度セットし直してください。
- マガジンを外したまま、本体を放置しないでください。
- かぎ針やシリンダーは機能上尖っておりますので、作業中は、必要時以外はマガジンをはずさないでください。

—お客様へ—

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。弊社では、より良い製品をお届けするために、常に研究・改良を行っております。そのため、生産ロットにより多少仕様が異なる場合がありますのでご了承ください。品質には万全を期しておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒300-4193 茨城県新治郡新治村藤沢3647番5

(株)エポック社 お客様サービスセンター

TEL.029-862-5789

(電話番号は間違いないよう、よく確かめてからおかけください。)

【電話受付時間】月～金曜日(祝・祭日を除く)10時～12時、13時～17時

©2004 EPOCH CO.,LTD.
PAT.P. MADE IN CHINA

対象年齢6才以上

発売元
株式会社エポック社
EPOCH 東京都台東区駒形2-2-2



取扱説明書

つくりかたテキストBOOK



初めて遊ぶときは、保護者の方と一緒に遊んで操作を覚えましょう。

セット内容

マガジン



本体

フェルト(白、ピンク、水色、青、黄色)



毛糸(白、ピンク、水色、黄色)

あみ針



テンション

とじ針



専用ビーズ(黄緑、水色、黄色、紫、ピンク)各色×20

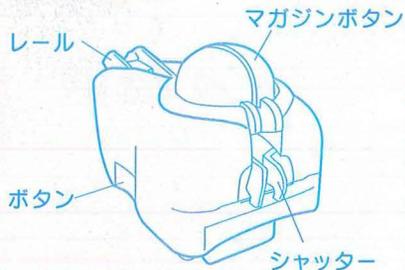
※製品と写真は仕様が一部異なる場合があります。

あみあみビーズニット・各部のなまえ

ほんたい
本体



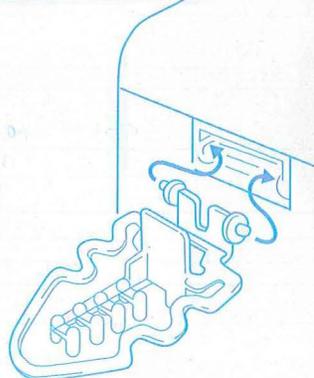
マガジン



マガジンのつけかた、はずしかた

- マガジン両側のボタンをおしながら、とりつけ、とりはずしをします。
- ※はじめは、セットされた状態になっています。

テンションのつけかた



- 図のようにテンションの凸部を本体横の穴にさしこんでください。

あみあみビーズニットは4通りのあみかたができます。



毛糸について

あみあみビーズニットであめる毛糸の太さは「並太」が最も適しています。

※本製品の付属毛糸は「アクリル100%・並太」です。

●編み始める前に、付属の毛糸を少し切ってとっておきましょう。

市販の毛糸をご購入の際に、お店の方に見本としてみてみましょう。

※並太の基準は、毛糸メーカー各社で多少異なりますので、予めご了承ください。

※毛糸の種類によって、編みにくいものもあります。

用意するもの：はさみ、じょうぎ、木工用ボンド

はさみ、じょうぎ：毛糸を切ったり、毛糸の長さをはかる時に使います。

木工用ボンド：マスコットのフェルトをはる時に使います。

※はさみの取り扱いには十分注意してください。

準備：毛糸をほぐします。

- 毛糸を図のようにほぐして、あきばこに入れておきます。



毛糸のセットのしかた/本体

★5ページでリストバンドをあむため、ピンクの毛糸を使ってね。

★マガジンをはずして、毛糸をセットしてください。

※注意:かぎ針の先端は機能上鋭くなっておりますのでご注意ください。

※はさみの取り扱いには十分注意してください。

わあみ



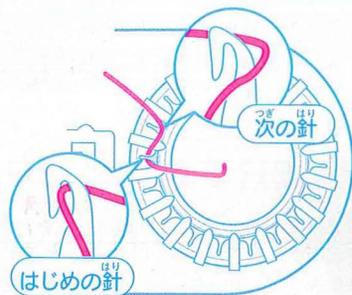
1 きりかえスイッチを「わあみ」にします。

2 毛糸を先から40cmくらいのところでもって、毛糸の先が下に十分つくようにシリンダーの中にたらしめます。

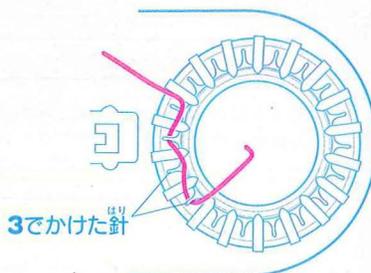


3 ハンドルを時計回りにまわすと、針が上にあがります。図の位置ではじめの針のフックに毛糸をかけます。そのまま次の針のうしろに毛糸をかけます。

※製品の針の色はかける位置と関係ありません。



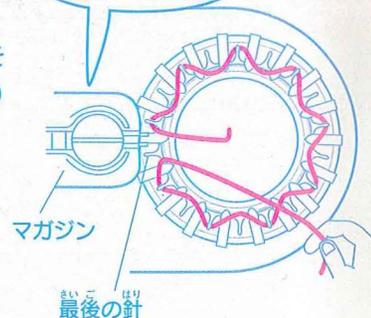
4 毛糸は、1本おきにゆるめに針にかけていきます。ハンドルを少しまわして次の針のフックに毛糸をかけます。そのまま、次の針のうしろに毛糸をかけます。



5 このようにハンドルを少しずつ回しながら、針の前と後ろの交互に毛糸をかけていき、シリンダーをひとまわりさせます。

正しく毛糸がかかっている場合は、毛糸は最後の針のうしろ側にあります。図のように毛糸を持って、マガジンをセットします。

「カチッ」と音がするまではめてね。

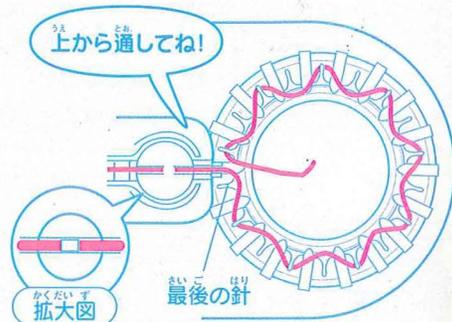


毛糸の通しかた/マガジン

6 マガジンの上からマガジンの中に毛糸を通します。

- 毛糸を、最後のかぎ針のうしろにかけ、マガジンボタンのすきまから、カチンと音がするまでマガジンの中に通します。

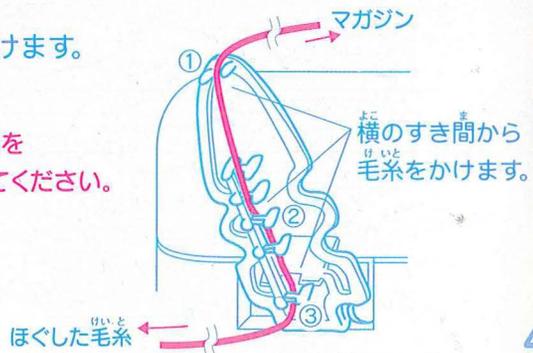
※マガジンのシャッターの間に毛糸がかかった状態にします。



毛糸の通しかた/テンション

7 毛糸をテンションにかけます。

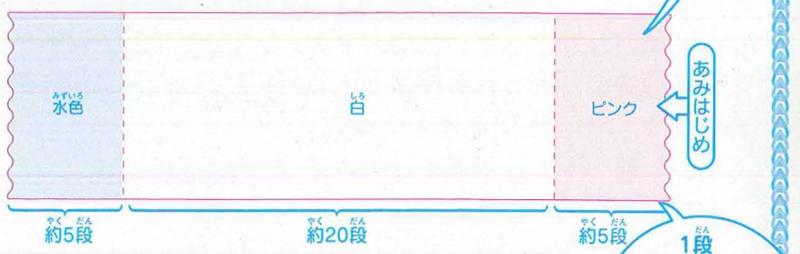
※あんでいる時にハンドルが重くなった場合は、かける段を少なくするなどして調節してください。



わあみのあみかた

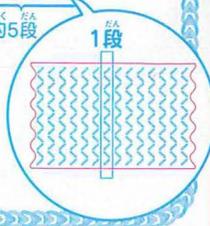
リストバンドをつくらう! <ガイド図>

★あみあがった毛糸を「あみ地」といいます。



- きりかえレバー:「わあみ」
- 毛糸
- ピンク…約5段
 - 白…約20段
 - 水色…約5段

★あみ地の「段」ってナニ?
あみ地にそろった毛糸の目の列を「段」といいます。



ポイント
シリンダーが1周回るとだんあめます。
黄色針を目印にするとわかりやすいよ!

1 本体を押さえながら、ハンドルを時計回りにまわします。
ピンクのあみ地を約5段あんだら、一度ストップします。

おさえかた

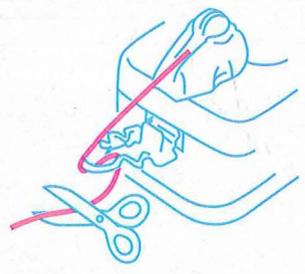


注意
指がかぎ針にかからないように注意してください。

2 毛糸の色をかえます。 ※リストバンドを作るときは白の毛糸を使ってね

毛糸のつなぎかた/色のかえかた

あんでいる毛糸を図の位置ではさみで切ります。
本体にかかっている毛糸と、白の毛糸をしっかりと結びます。



ポイント
毛糸が足りなくなったときも、同じようにしてつなげてね!

注意
結び目が大きかったり余分な部分が多いとあみにくくなりますのでご注意ください。

毛糸のむすびかた

図のようにしっかりとむすびます。
よぶんな毛糸は、結び目から2mmくらいのところではさみで切ってください。

3 白の毛糸で約20段あみます。
2と同じように、水色の毛糸をつなぎ、さらに約5段あみます。
あみ地が長くなってきたら、取り出し口から前にあみ地を出してください。



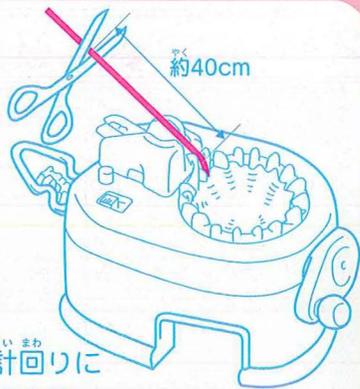
注意
あみ地のねじれはときどきなおしてください。
ねじれたままあみつづけると、あみ目がとんであめない場合があります。

あみ地のはずしかた

※平あみのあと、あみ地をはずす時は、きりかえスイッチを「わあみ」にしてください。

1 毛糸をテンションとマガジンからはずして約40cmのところで切ります。

※はさみの取り扱いには十分注意してください。



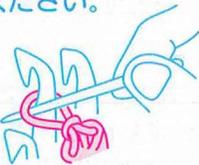
2 図のように毛糸をもってハンドルを時計回りにまわしていくと、あみ地がはずれていきます。



毛糸がはずれない部分があったら、マガジンをはずして、図の位置で、とじ針ではずしてください。

※かぎ針の先端は機能上鋭くなっておりますのでご注意ください。

※はずしたマガジンは再セットしてください。



3 はずしたあみ地を取り出し口から出します。

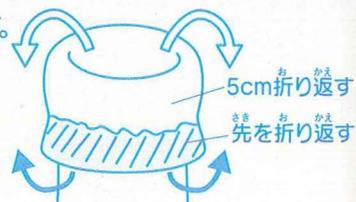
あみはじめとあみおわりをしまつをします。

●わあみのしまつのしかた(その1)→25ページ



4 あみ地の筒を中から全部うら返します。両側を5cmくらい折り返します。

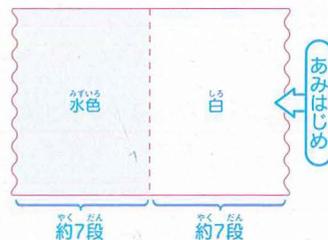
ピンクと水色のあみ地を丸めるように折り返します。



初級編

わあみのあみかた

ハナちゃんとソラクんのマスコットをつくらう! (ガイド図)



きりかえレバー:「わあみ」

毛糸
 ● 白…約7段
 ● 水色…約7段

※あみ地はハナちゃん、ソラクんとも共通です。

1 白の毛糸で約7段わあみをします。

水色の毛糸をつないで、さらに約7段わあみをします。

あみ地をはずします。

- 毛糸のつなぎかた→6ページ
- あみ地のはずしかた→7ページ

2 あみおわりのしまつをしてあみ地のふくろをつくります。

- あみおわりのしまつのしかた(その2)→26ページ

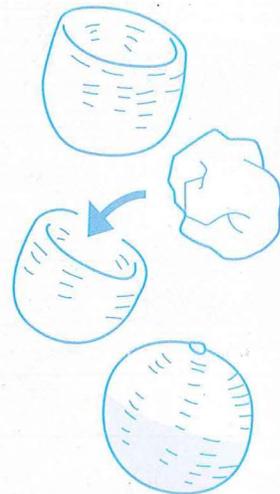
3 ティッシュペーパーを2枚ほどかるく丸めて、あみ地のふくろにつめます。

4 あみはじめのしまつをします。

- あみはじめのしまつのしかた(その2)→26ページ

5 9ページをみて、フェルトを木工用ボンドでつけます。

※色わけをしないで、ピンクの毛糸でつくって、16ページでつくるマフラーにぬいつけてみよう!



フェルトの使いかた

●ハナちゃんマスコット

- ①右耳 ②左耳 ③花 ④花の芯 ⑤目 ⑥口
⑦右手 ⑧左手 ⑨右足 ⑩左足 ⑪しっぽ

●ソラくんマスコット

- ⑫右耳 ⑬左耳 ⑭目 ⑮口 ⑯右手 ⑰左手
⑱右足 ⑲左足 ⑳しっぽ

●アップリケ

- ㉑かお ㉒右耳 ㉓左耳 ㉔花
㉕花の芯 ㉖目 ㉗口

フェルトをはさみで切りぬいて、
写真を参考に木工用ボンドではりつけます。

※はさみの取り扱いには十分注意してください。

ハナちゃん
マスコット



ソラくん
マスコット

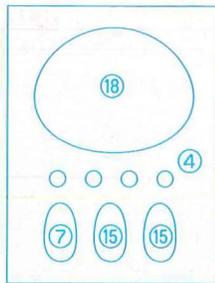


アップリケ

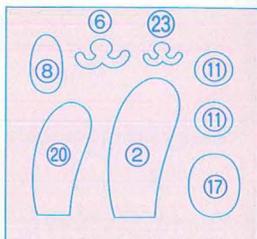


※18ページでつくる
バッグにはろう!!

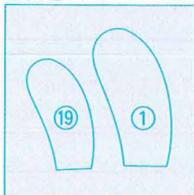
しろ



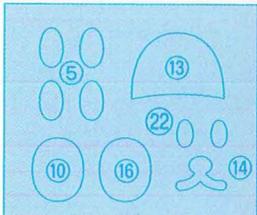
ピンク



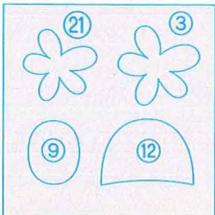
みずいろ



あお



きいろ



ビーズあみの練習

このページで、ビーズあみをするための使いかたを覚えましょう!
毛糸やビーズはセットしないでやってみてね!

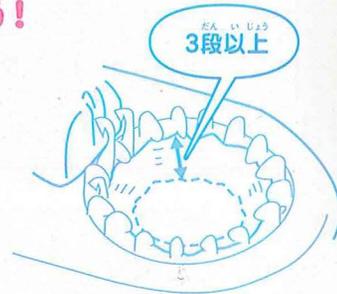
★イメージしながらやってみよう!

1 かりかえレバーを「わあみ」にして、
ハンドルをまわします。

ポイント

ビーズあみをするときは、はじめに3段以上あみ地をつくります。

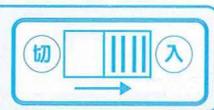
※ビーズ平あみの時も、平あみのあみかたで3段以上あみ地をつくります。



2 ハンドルを止めて、ビーズあみスイッチを「入」にします。

ポイント

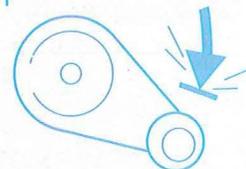
ビーズあみスイッチを「入」にするとハンドルがまわらなくなります。



押して、はなす。↓



3 マガジンボタンを押してから、
ハンドルを動かすと、シリンダーの針が2本ぶんまわって止まります。



少しまわって止まります。

4 3を何回かくり返します。

ポイント

ボタンを押す→ハンドルをまわす→ボタンを押す…をくり返してコツをつかんでください。

5 スルーボタンを押しながら、ハンドルをまわしてみましょう。

ポイント

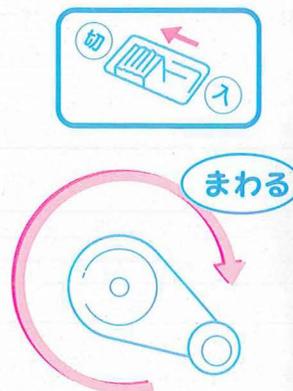
スルーボタンを押している間はハンドルがまわり、毛糸があめます。ビーズあみの途中でビーズをとばしてあみたい時や、ビーズ平あみをする時に使います。



6 ビーズあみスイッチを「切」にします。

ポイント

ビーズあみスイッチを「切」にするとハンドルがまわるようになります。ビーズあみをしない時や、しばらくビーズをあみこまない時は、「切」にしておいてください。

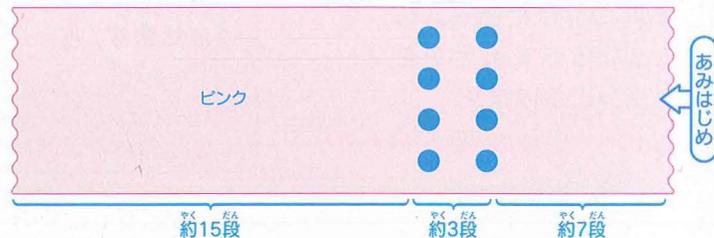


★十分にコツがつかめたら、次のページからビーズあみにチャレンジしよう!

中級編

ビーズわあみのあみかた

キンチャクをつくろう! <ガイド図>

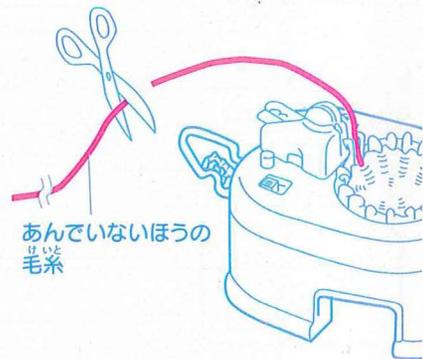


きりかえレバー:「わあみ」 毛糸・ピンク…約25段
ビーズ・7段目くらいに4コ、3段以上あけて4コ

1 ピンクの毛糸で約7段わあみをします。

ビーズの通しかた

2 テンションから毛糸をはずして、図の位置で毛糸を切ります。あんでいないほうの毛糸にビーズを8コ通して、毛糸をつなぎます。

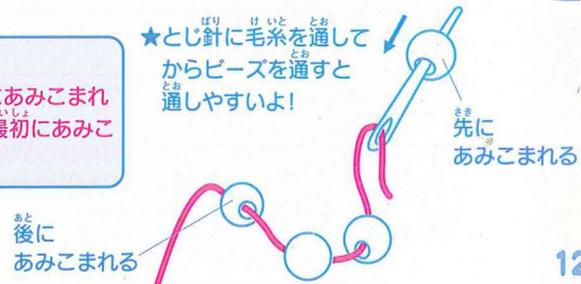


●毛糸のつなぎかた→6ページ

ポイント

最初に通したビーズが最後にあみこまれます。最後に通したビーズが最初にあみこまれます。

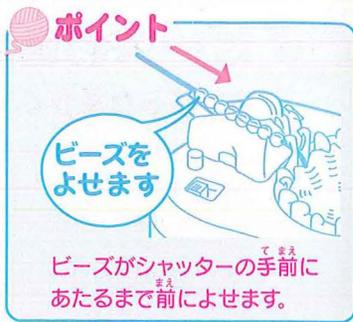
★とじ針に毛糸を通してからビーズを通すと通しやすい!



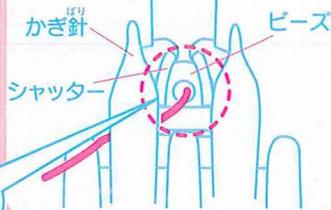
ビーズのならべかた

3 針にかけた毛糸が、はずれたり、ゆるまないようにマガジンを通します。つなげたビーズをレールにならべます。毛糸をテンションにかけます。

●テンションへの毛糸のかけかた→4ページ



マガジン正面図



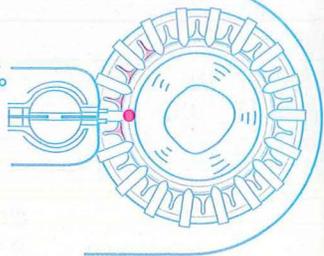
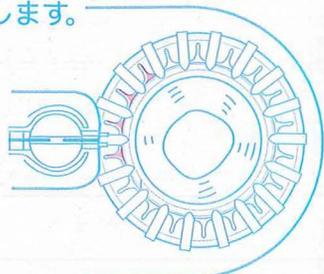
ポイント

シャッター部分の毛糸が図のようになっていないことを確認してください。

シャッターの間に毛糸がかかった状態にします

4 ハンドルを回して、黄色針を図の位置にします。ビーズあみスイッチを「入」にします。

※ハンドルがこの位置でまわらない事を確認してください。

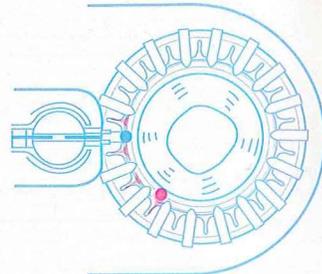
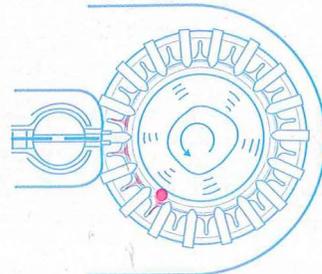


5 マガジンボタンを1回押して、ビーズを1コ、シリンダーの中に取り入れます。

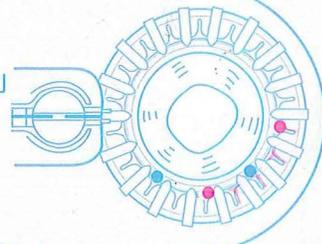
注意

ビーズボタンは2回連続で押さないでください。

6 ハンドルを少しまわすとカチッと音がして止まります。(最初に入れたビーズがシリンダーの間におくられます。) マガジンボタンを押して2コめのビーズを入れます。

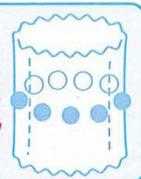


7 5.6と同じように「ボタンを押す→ハンドルを少しまわす」を、ゆっくりくりかえして、4コのビーズをあみこみます。



注意

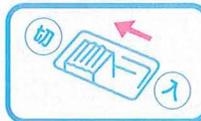
ビーズは、わあみで1列に最大9コまであみこめます。それ以上はあみこめませんのでご注意ください。



注意

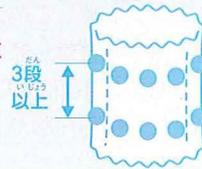
ビーズをあみこむ時は、必ずビーズあみスイッチを「入」にしてハンドルが止まった位置で行ってください。

8 ビーズあみスイッチを「切」にして、3段以上あみまします。

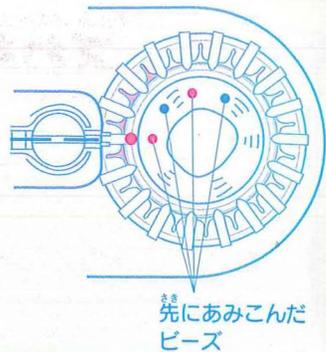


注意

ビーズをならべて2列以上あむときは、必ずあいだに3段以上のあみ地をつくってください。



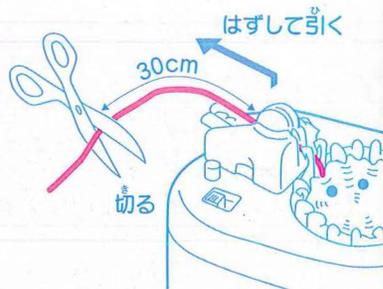
9 ハンドルをまわして先にあみこんだ
ビーズに位置をあわせます。
ビーズあみスイッチを「入」にして、
ビーズを4コあみこみます。



10 ビーズあみスイッチを「切」にして
約15段あみ、あみ地をはずします。

●あみ地のはずしかた→7ページ

マガジんにビーズが入っている
ときは、そのまま図の位置で毛糸を
切って、マガジンをはずし、左側に
ひいてください。



注意

残ったビーズはマガジンを
かたむけて取りのぞいてください。

11 あみ地のしまつをします。

●あみおわりのしまつのしかた(その1)→25ページ

●あみはじめのしまつのしかた(その2)→26ページ

ビーズをあみ地の表に出します。

20cmくらいに切った毛糸の先にビーズを
結びつけて、ふくろの口を結びます。

できた!!



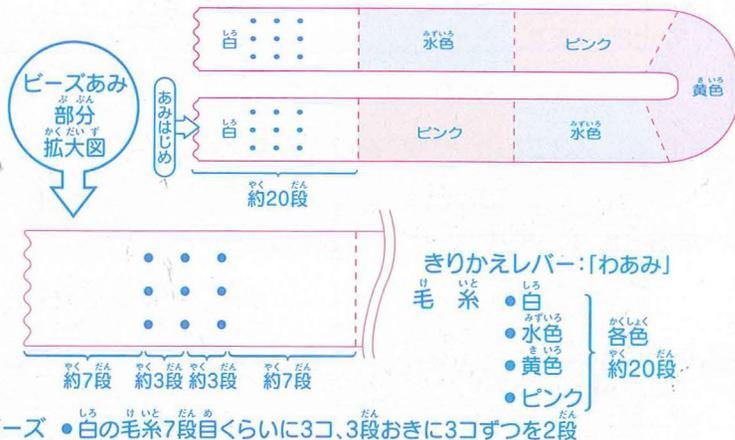
※スルーボタンを押してハンドルを回すと
ビーズを途中でとばしてあむ事ができます。

(1コとばしや2コとばしなど)

なれてきたらいろんなパターンであんでみてね。

上級編

ビーズわあみのあみかた マフラーをつくろう! (ガイド図)



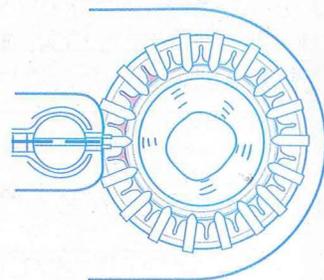
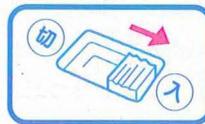
1 白の毛糸で約7段わあみをします。

2 毛糸にビーズを9コ通し、マガジンレールになら
べます。毛糸をテンションにかけます。

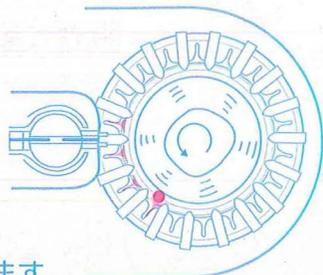
●ビーズの通しかた→12ページ

●ビーズのならべかた→13ページ

3 黄色針が図の位置にくるように
ハンドルをまわしてビーズ
あみスイッチを「入」にします。



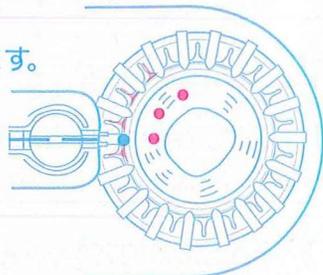
- 4 マガジンボタンを1回押して、ビーズを1コ、シリンダーの中に入れます。ハンドルを少しまわすとカチッと音がして止まります。



- 5 4をくり返して3コのビーズをあみこみます。

- 6 ビーズあみスイッチを「切」にして3段以上あみます。

- 7 先にあみこんだビーズに位置をあわせて、ビーズあみスイッチを「入」にします。4→5→6→4→5の順にくり返してビーズをあみこみます。



- 8 ビーズあみスイッチを「切」にして約7段あんだら、毛糸の色を変えます。

- 9 ガイド図を参考に毛糸の色を変えながらあんでいきます。

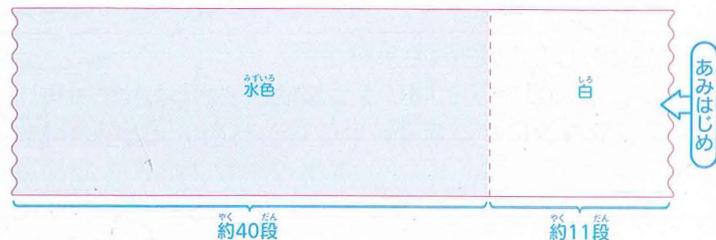
- 10 白の毛糸をつなぎます。(つなぐときにビーズを9コ通しておきます) 1~7をくり返したら、ビーズあみスイッチを「切」にして約7段あみます。

- 11 あみ地をはずしてしまつをします。
 ※8ページを参考にピンクの毛糸でポンポンを作ってマフラーのはじにつけよう!

中級編

平あみのあみかた

ミニバッグをつくろう! (ガイド図)



きりかえレバー:「平あみ」
 毛糸・白…約11段
 ・水色…約40段

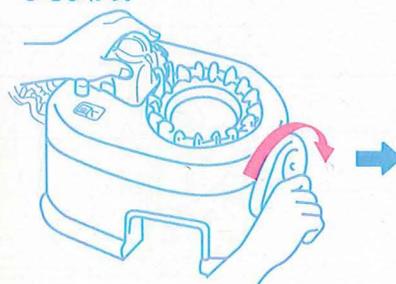
きりかえレバーを「平あみ」にします。



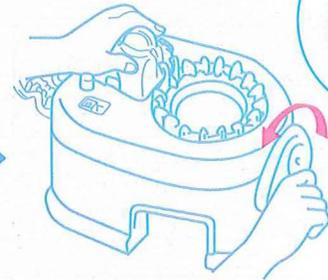
平あみの練習:毛糸をセットしないでやってみよう!!

毛糸をセットする前にハンドルが止まるまで、ゆっくり時計回りにまわしてみましょう。ハンドルが止まったら反対方向にまわします。これをくりかえすと平あみがあめます。

時計回りにハンドルが止まるまでまわす。

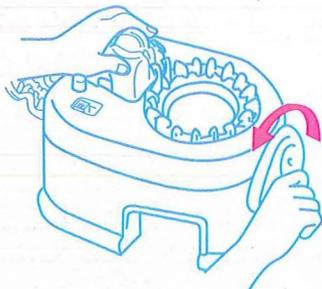


止まったら反対にまわす。

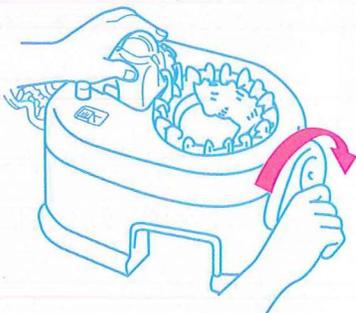


何回かくり返してコツをつかんでね!

1 本体を押さえながら、ハンドルを時計回りと反対の方向へ止まるまでまわします。



2 毛糸をセットします。白の毛糸を3ページからの2~7と同じように通し、テンションにかけます。



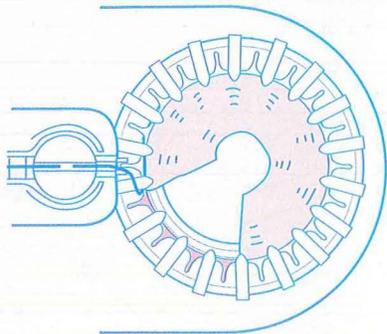
3 ハンドルが止まるまで、時計回りにまわします(すぐ止まります)。止まったら、今度は反対方向に止まるまでまわします(反時計回り)。これをくり返して、あみ地を11段あみます。

注意

ハンドルが止まるまで、途中で反対にまわさないでください。

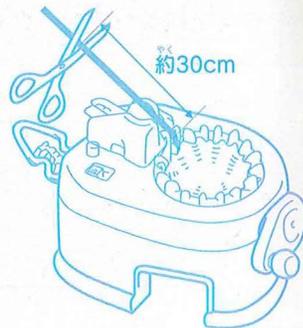
ポイント

平あみは18本の針のうち、14本を使ってあみます。
きいろ針4本は使いません。



4 あんでいる毛糸を切って、水色の毛糸をしっかりと結びます。

● 毛糸のつなぎかた→6ページ

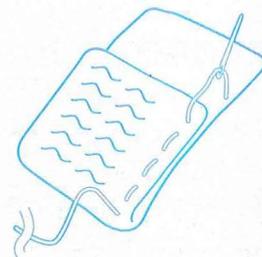


5 水色の毛糸で約40段あんだら、あみ地から約30cmのところで毛糸を切り、あみ地をはずします。

● あみ地のはずしかた→7ページ

6 あみはじめとあみおわりのしまつをします。

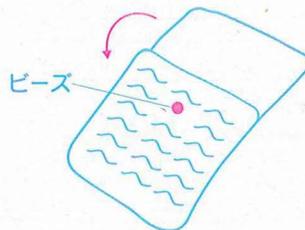
● 平あみのしまつのしかた→27ページ



7 あみ地の水色の部分を半分に折ってとじ針でフクロ状にぬいます。

● あみ地のとじかた→28ページ

8 図の位置にビーズを結びつけて、フクロのとめ具にします。約30cmに切った毛糸にビーズを何コか通します。フクロの両側に結びつけて、持ち手を作ります。



9ページをみて、フェルトでハナちゃんのアププリケをつけてできあがり!

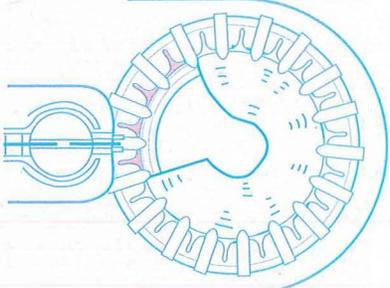
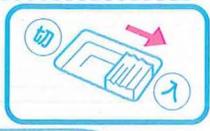
ビーズ平あみのあみかた

ポゼットをつくらう! (ガイド図)

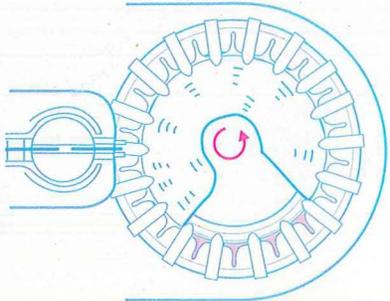


きりかえレバー: 「平あみ」 毛糸・黄色…約60段
 ビーズ・約12段目に5コ、3段おきに5コずつを2段

1 黄色の毛糸で約12段平あみをします。
 ハンドルが止まるまで反時計回りにまわして、ビーズあみスイッチを「入」にします。
 黄色針が図の位置にあることを確認してください。
 毛糸にビーズを9コ通してマガジンレールにならべます。



2 スルーボタンを押しながら、ハンドルを時計回りにまわして、黄色針を図の位置にします。



注意

平あみでビーズをあみ込む時は、黄色針とその両となりのシリンダー3本ぶんはビーズをあみこめません。はじめの部分は、必ずスルーボタンを使って、シリンダーの位置を動かしてください。

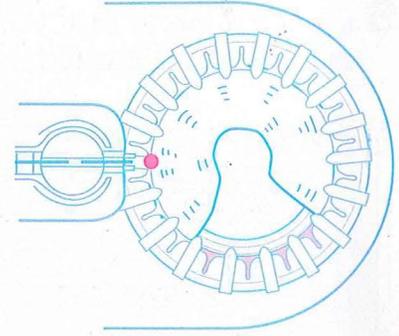


……あみこめるシリンダー
 ……あみこめないシリンダー

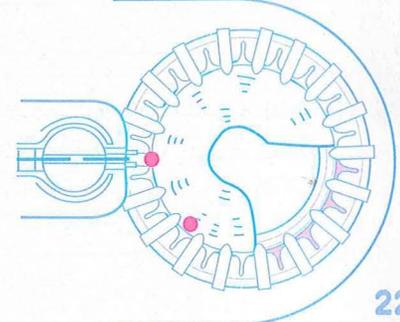
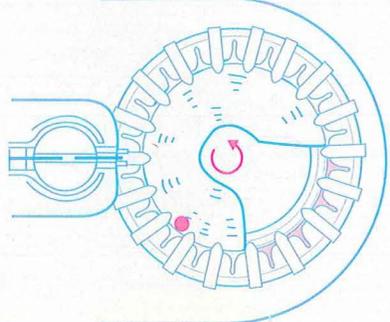
3 マガジンボタンを1回押して、ビーズを1コ、シリンダーの中に入れます。

注意

ビーズボタンは2回連続で押さないでください。

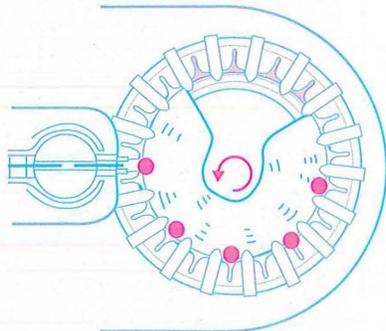


4 ハンドルを少しまわすとカチッと音がして止まります。(最初に入れたビーズがシリンダーの間におくられます) マガジンボタンを押して2コめのビーズを入れます。

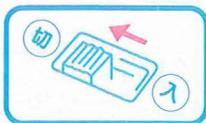


5 4と同じように「ボタンを押す→ハンドルを少しまわす」をくりかえして、1段5コのビーズをあみこみます。

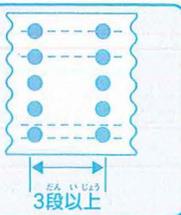
注意
平あみでは、ビーズは最大5コまであみ込めます。それ以上はあみ込めませんのでご注意ください。



6 ビーズスイッチを「切」にしてあみ地を3段以上あみます。



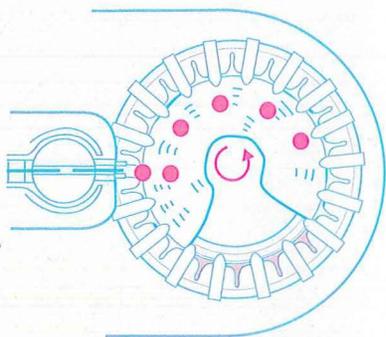
注意
ビーズをならべて2列以上あむときは、必ずあいだに3段以上のあみ地をつくってください。



7 マガジンに通った毛糸にビーズを5コ追加します。

●ビーズの通しかた→12ページ

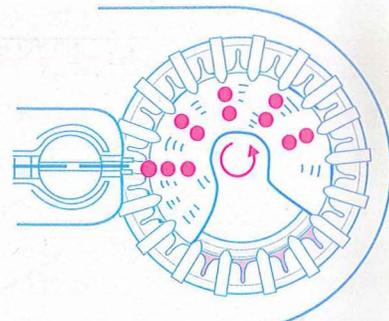
8 ハンドルをまわして先にあみこんだビーズに位置をあわせませす。ビーズあみスイッチを「入」にして、3~5をくり返し、ビーズを5コあみこみます。



9 6~8をくり返して5コのビーズをあみこみます。

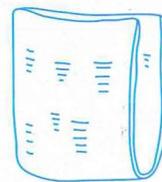
10 ビーズあみスイッチを「切」にして約42段あんだら、あみ地をはずしてしまつをします。

- あみ地のはずしかた→7ページ
- 平あみのしまつのしかた→27ページ

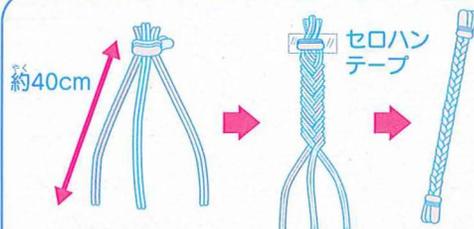


11 あみ地のはじを、図のようにそろえて半分におり、両側をぬってふくろにします。

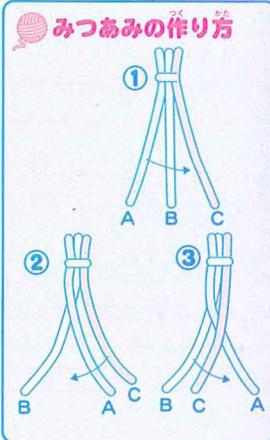
- あみ地のとじかた→28ページ②~⑦



12 持ち手をみつあみでつくり、ふくろにぬいつけます。



- ①白・ピンク・水色の毛糸(約40cm)を、それぞれ2本ずつ切ります。
- ②6本の毛糸をまとめて、あまった毛糸ではじをしばります。
- ③机などにセロハンテープでとめ、3色でみつあみをします。
- ④あみ終わったら、はじをあまった毛糸でしばります。



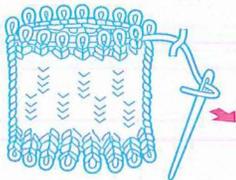
※スルーボタンを押してハンドルを回すとビーズを途中でとばしてあむ事ができます。(1コとばしや2コとばしなど) 慣れてきたらいろんなパターンであんでみてね。

わあみ あみおわりとあみはじめのしまつのしかた その1

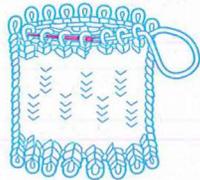
★あみ地を筒の状態のまま上げ、しまつのしかただよ!

あみおわりのしまつのしかた その1

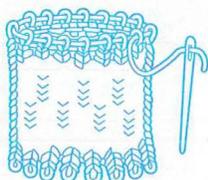
①あみおわりの毛糸をとじ針に通します。



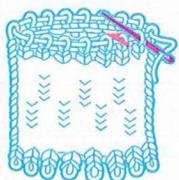
②あみおわりのあみ目にとじ針を通します。



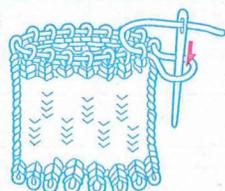
③輪になっているあみ目全部にとじ針を通します。



④あみ目に通しおわった毛糸を図のようにあみ目のひとつに通します。



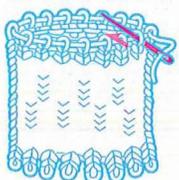
⑤毛糸の輪をつくり、とじ針をとおして結びます。



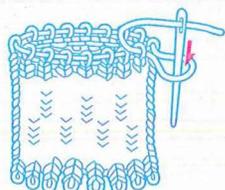
⑥残った毛糸はあみ地の中に少しぬいこみ、あまった部分を切ります。

あみはじめのしまつのしかた その1

①あみはじめの毛糸をとじ針に通し、図のようにあみ目にさします。



②毛糸の輪をつくり、とじ針を通して結びます。



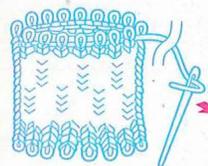
③残った毛糸はあみ地の中に少しぬいこみ、あまった部分を切ります。

わあみ あみおわりとあみはじめのしまつのしかた その2

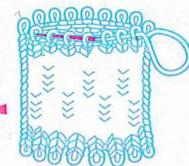
★あみ地のはじをしばる、しまつのしかただよ!

あみおわりのしまつのしかた その2

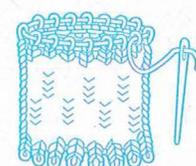
①あみおわりの毛糸をとじ針に通します。



②あみおわりのあみ目にとじ針を通します。



③輪になっているあみ目全部にとじ針を通します。



④あみおわりの毛糸をひっぱり、あみ地の輪がふさがるまでしばります。



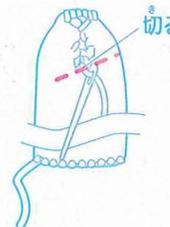
⑤図のようにあみ地にとじ針をさして輪が残るようにとじ針をぬきます。



⑥毛糸の輪の中にとじ針を通してひっぱり、結びます。



⑦残った毛糸はあみ地の中に少しぬいこみ、あまった部分を切ります。

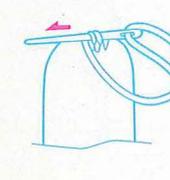


あみはじめのしまつのしかた その2

①あみはじめの毛糸をひっぱり、あみ地の輪がふさがるまでしばります。



②図のようにあみ地にとじ針をさして輪が残るようにとじ針をぬきます。



③毛糸の輪の中にとじ針をとおしてひっぱり、結びます。



④残った毛糸はあみ地の中に少しぬいこみ、あまった部分を切ります。



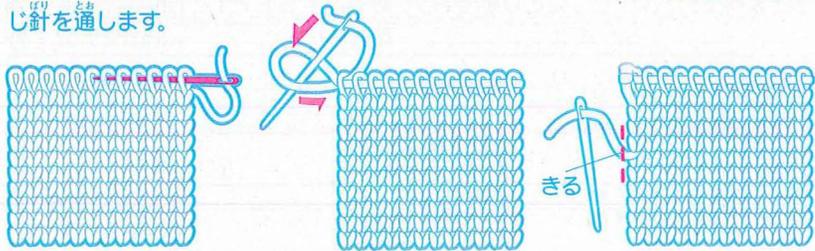
平あみ あみおわりとあみはじめのしまつのしかた

あみおわりのしまつのしかた

①あみおわりの毛糸を
とじ針に通し、輪になっ
ているあみ目全部にと
じ針を通します。

②図の位置で毛糸の
輪をつくり、中にとじ
針を通して結びます。

③残った毛糸をあみ地
の中に少しぬいこみ、
余った部分を切ります。



あみはじめのしまつ

①あみはじめの毛糸を
とじ針に通します。

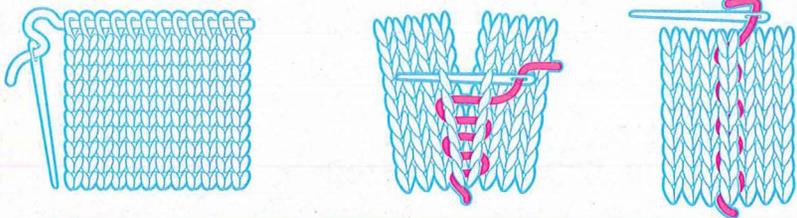
※②、③、はあみおわり
のしまつのしかたと同
じです。

あみ地のつなぎかた

※あみはじめと、あみおわりのしまつのおこなってください。

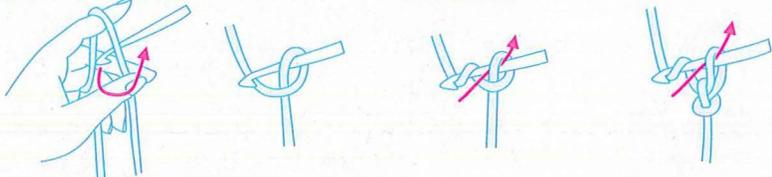
①とじるあみ地より長
めの毛糸をとじ針に通し、
図のように互いのあみ
目に通していきます。

②毛糸をつれないよう
にひいて、つなぎはじ
めとつなぎおわりをあ
み目に結びます。



くさりあみのあみかた 覚えておくと、べんりだよ!

①あみ針で毛糸を図 ②輪をつくります。③毛糸をかけてひ ④くり返します。
のようにすくいます。 きぬきます。

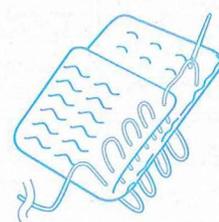
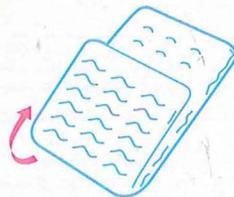


平あみ あみ地のとじかた(フクロのつくりかた)

※27ページのあみおわりとあみはじめのしまつをしてから行ってください。

①フクロのふた部分を
のこしてあみ地をおり
返します。

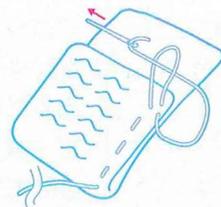
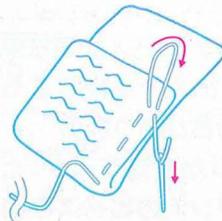
②あみ地と同じ色の毛糸を2本用意して
針を通して図のようにぬっていきます。



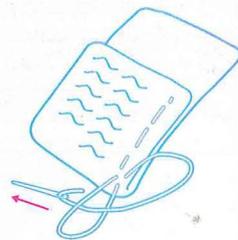
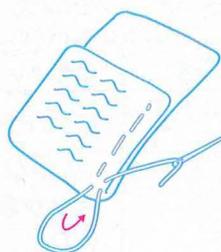
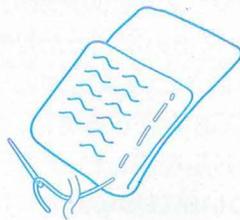
③上側のあみ地に針を
通して、輪をつくります。

④輪に針を通して、結
びつけます。

⑤余分な毛糸は、あみ
地の中に少しぬいこん
で、残りを切ります。



⑥ぬいはじめも同様に針を通し、結びつけます。



⑦反対側も同じようにぬいつけたら、あみ地のフクロを中からうら返します。

こんな時はどうしたらいいの？

●あやまってシリンダーやかぎ針に毛糸がからまった。

マガジンをはずして、毛糸を切り、とじ針であみ地をはずしてください。毛糸は新しいものにかえてください。

※必ず保護者の方が行ってください。かぎ針の先端が鋭くなっていますので、ご注意ください。

●あみ地のしまつがうまくできない。

あみおわりの毛糸をすこしひっぱってほぐくと、あみ目がそろって針が通しやすくなります。(あみ目の輪が外側にめくれている時もそのまま輪に針を通してください)

●マガジンボタンを押しても、シリンダーにビーズが入らない。

マガジンの中のビーズが残り少なくなると、ボタンを押しても出てこない場合があります。ビーズを何コか追加するか、とじ針でマガジン内のビーズを前によせてください。

●ビーズあみをしていたら、あみ目がとんだ。

毛糸のテンションがきつかったり、急いでビーズあみを行ったりすると、あみ目がとぶ場合があります。ビーズあみをする時は、ゆっくりハンドルを回して、テンションがきつい時はゆるめてください。

ハンドルが重くて、まわすとパキパキ音がする時

※毛糸をあみはじめる時(あみ地が5cmくらいまで)や、ビーズあみをした直後は、ハンドルが重くなる場合があります。

考えられること

対処方法

●テンションがきつい。テンションに毛糸がからまっている。

テンションにかかっている毛糸を調整してください。(4ページ)

●毛糸が毛糸玉からほぐれていない。

毛糸をほぐしておきます。(2ページ)

●毛糸が太い。(市販の毛糸を使った場合)

市販の毛糸を使用する場合は、製品付属の毛糸を見本に購入してください。(2ページ)

●毛糸の結び目が大きくて、テンションやビーズ玉にひっかかっている。

一度毛糸を切り、新しく毛糸をつなげます。しっかりと結びつけて、結び目を小さくします。(6ページ)

●ビーズあみスイッチが「入」になっている。

スイッチを「切」にするとハンドルが回転します。(11ページ)

●きりかえスイッチが、平あみになっている。

平あみの場合、ハンドルは途中で止まって、反対方向に回すようになっています。(18ページ)